

# すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 3

平成 25 年 10 月 X 日発行  
発刊元：塾熟出版（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317 - 6621 FAX 3317 - 6620

卒塾号

出た！大人塾名物、ワールドカフェ&アクション宣言！

哲学対話をこれからに活かそう

9月28日  
土曜コース

## 最終回！体験+ふりかえり=経験値

今回はよいよ最終回。まずは、前回の感動+効用爆裂(?)のオープン哲学対話のふりかえりを行った。よかったことから入り、もっとよくするには？を考え、よしやってみよう！につながる大事な行為であるふりかえり。その目的は、「主体的に考える」という事。日々の生活でも大切である。

## 学びを未来につなげる！

「哲学」を知り、「対話」を学び、「ファシリテーター」の技術を磨く。そんな半年を、最後はワールドカフェと受講生の学び アクション宣言で締めくくった。「聞くことの大切さを学んだ」「人との対話を通して、自分を知ることができた」「違う方向から考えられるようになった」「人を認めることの大切さを痛感した」など、受講生の学びの成果は、対話を通じた自分の気づき、相手に対しての想いなど「自分・他人を知り、認める」ことに戻ってきたようだ。

最後の広石さんの話。「この人はちょっと・・・と思っても、まず一回聞いてみて、意見を受け入れてみる。それから違うかどうか考えてみる。この訓練は、『市民』となって地域をつくっていくのにも、一番大切な姿勢なのです」。違いを認め合う対話は、会社でも地域でも人とつながりをつくっていくのに、受講生の大きな味方になってくれるであろう。半年間お疲れさまでした！（湊）

参加者が選んだ！心に刻んだ広石さんの教え（大人塾から得たことの発表より）

ファシリテーターの心をもって日々の対話をする。

雑談・対話・議論は違う。その違いを知ること。

何かをあきらかにしたいときに、あいまいにせずに「踏ん張る」こと。

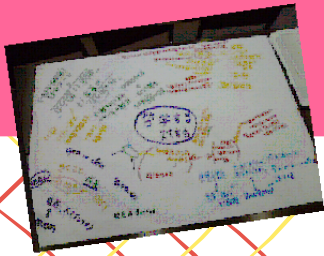
## 学習支援者から一言



土曜・朝・哲学...尻ごみしたくなるキーワードが並んだ講座に、本当にお疲れさまでした。最後の振り返り、「ケンカするほど意見の違う相手でも、その人なりの背景・理由があることを知った」という言葉に感動です！哲学は意見の違う相手ともつながれる土台をつくるのかも？今後の「朝・哲」がはじまることを期待しています！（川上）

全 9 回を通じて塾生のみなさんの「哲学者としての顔」を間近でみさせていただきました。土曜朝からこんな濃い時間を共有した仲間が同じ杉並区にいることは心強いことだと感じています。みなさんが、講座が終わっても土曜の朝は身体がついつい哲学したくなっているのでは！？と期待しています。（中川）

良い意味で批判的に対話する力は、現代社会には不可欠です。しかし、難しい。その難しさを乗り越える方法をみなさんと探す半年でした。同時に、色々なテーマで対話を重ねることで、自分の考えも見直す機会になったのではないかと思います。この対話の経験が、いつか、みなさんがちょっと難しい問題の本質を考える手助けになったなら、とても嬉しく感じます。半年間のご参画、ありがとうございました。（広石）



10月7日  
月曜コース

## だがしや楽校の芽は芽吹いた?



### パーティーで見た「だがしや楽校」

「わぁ!これぞだがしや楽校が息づいている!」これは、今回が最終回ということで行った、持ち寄り“分けっこ”パーティーをしている時の私の想いだ。一人ひとりができること(ケーキを手作りしたり、お皿を準備したり)を少しずつ持ちよってできたパーティーは、まるで自分みせだ。

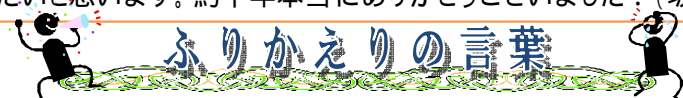
また、今回は、生涯学習のノートを製作している文房具会社の方が参加していたり、前回から途中参加されている方がいたり、栃木・しもつけ大人塾の事務局の方がいたり、ここにも“誰でもウェルカム”のだがしや楽校の考え方が垣間見えた。

さらにパーティーの中では、前回の話し合いの中で発案された“なりきり即興劇「外で遊ばない子 VS 説得する大人」(左下写真)”をみんな楽しんでた。このなりきり即興劇、とても好評で「私の子育てはね...」と、終わった後にも話が盛り上がる波及効果があった!



### 講座をふりかえって・・・

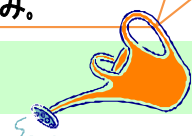
パーティーの最後には、受講者一人ひとりがこれまでの約半年の講座をふりかえっての語り合い(詳細は以下!)。これまでのこととこれからのこと、両方の言葉を聴くことができた。講座は終わりでも、ここで出会った人々とは終わりではない。これからのみなさんのご活躍を願って、お礼の言葉に代えたいと思います。約半年本当にありがとうございました!(坂)



- 🌈 回を重ねるごとにお互いを分かり合えた。また今日みたいな持ち寄りパーティーを始めにやりたかった。
- 🌈 いろんな世界を見ることができた。
- 🌈 「だがしや」ってひらがなで書いてあることの意味が分かった。
- 🌈 これまでは、「保育園の」仲間というように特定の世界の付き合いだったのが、講座に参加することで違う世界を知ることができた。
- 🌈 皆さんの特技を自分のものにできることが楽しかった。
- 🌈 この講座の場が、お互いを支え合うような場でとても感謝している。
- 🌈 地域と関わるということに対する視野が広がった。
- 🌈 これからの活動をどうしていくか楽しみ。



## 新たな門出に立つみなさまへ 祝辞

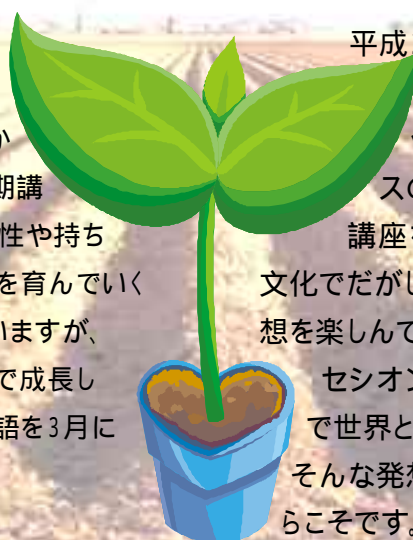


### 松田道雄さんより

平成25年度、前期月曜コース「だがしや楽校を開こう」の皆様、講座のご卒業、そして、自主活動の始まり、おめでとうございます。講座から自主活動へのなめらかな離陸。今年度の前期講座の特色はここに焦点がありました。自分の個性や持ち味を発露しながら人とのつながりとコミュニティを育てていくことは、全国の大人の学習講座で注目されていますが、それは、まさに講座終了後の皆様の自主活動で成長し開花していくことでしょう。これからの皆様の物語を3月におうかがいできますのを楽しみにしております。

### 谷原博子さんより

平成25年度 月曜コース(前期)卒塾の皆さまへ  
今回の講座期間中に2020年東京オリンピック開催が決定しました。多くの方が7年プラスの自分像を描きました。私もそうでした。講座を進めながら、身近な特技やおすそ分けの文化でだがしやオリピック!を開きたいなあと壮大な妄想を楽しんでおりました。  
セッションの一室で生まれた“すぎなみ流おもてなし”で世界ともつながる... どうでしょうか?  
そんな発想が生まれたのも皆さまとの出会いがあったからこそです。たくさんの気づきをありがとうございました。



□すぎなみ大人“熟”してる?の発行にあたって□

この新聞は事務局スタッフの独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。